

## 体制整備構想の策定

### ～みんなの地域を次世代に引き継ぐために～

- 農地や農業用水などの資源は、これまで集落など地域の共同活動により保全管理されてきました。
- これらの資源は、農業だけでなく農村の豊かな自然環境や景観を形づくる上でも大きな役割を果たしています。
- しかし、過疎化・高齢化・混住化等の進展に伴う集落機能の低下により、これまでどおり、地域で農地・農業用水などの資源を適切に保全管理していくことが難しくなっています。

#### 農地や農業用水などの資源

- ・農業生産の基盤
- ・農村の豊かな自然環境や景観を形成

これまでは・・・



集落など地域の共同活動で保全管理

しかし

- ・過疎化、高齢化、混住化が進展

いまでは・・・

地域の今後が心配



地域での保全管理が困難な状況

### 急がれる「地域を自分たちで守る取組」



- ◆地域はみんなの力で変えることができます
- ◆みんなで地域の現状を認識し、みんなで話し合い、みんなで考えましょう

- ・これまで行ってきた共同活動を振り返り、次世代に続く地域に根ざした活動にしていくためには、今後、何をしたら良いのでしょうか？
- ・5年後、10年後を見据えた時、地域を守っていくには何が必要でしょうか？

**話し合いを通じて、今一度、考えてみましょう！  
「地域のこと・自分たちのこと・次世代のこと」**

#### 体制整備構想

- ①共同活動の現状を把握しましょう  
誰がどんな役割を担当しているの？ 経費はどのくらい？ 役割の見直しが必要？
- ②将来の見通しを予想してみましょう  
活動の中心となる人たちは何歳？ 高齢者がリタイアしたらどうなるの？
- ③将来のあるべき姿（進むべき目標）を考えましょう  
資源を守るにはどうすればいいの？ 誰が何をすればいいの？
- ④地域農業の将来を考えましょう  
農業を支える人材（担い手）はいるの？ どうやって人材を育てていくの？
- ⑤目標を実現する方法を考えましょう  
具体的に何をすればいいの？

